

自分のルーツを探してみよう

金子大輔

この記事は、みんなの北星アドベントカレンダー2022の13日目の記事です。

(<https://adventar.org/calendars/8123/>)

私は普段は、教育学や教育情報学などの分野について研究をしているわけですが、その他に「系譜学」にも手を出しています。自分の先祖について調べる、家系図を作る、といえればわかりやすいでしょうか。自分の父親の父親（祖父）の父親（曾祖父）の父親（高祖父）は誰か？みたいなことを調べていくのですね。最近ではNHKのファミリーヒストリー(<https://www.nhk.jp/p/famihis/ts/57RY735RG4/>)など、自分の祖先についての番組も定期的に放映されており、興味を持っている方も多いのではないかと思います。

ネットで検索すると、家系図作成します！という業者や行政書士のサイトがいくつか出てきます。お金を払えば（かなりの料金になりますが）素晴らしい装丁の家系図を作ってくれます（もし業者に頼みたい方がいれば、信頼できる業者をいくつか紹介できますのでご連絡ください）。ただ、家系図の作成は自分でも可能ですので、ぜひチャレンジして欲しいですね。

私が自分の先祖に興味を持ち始めたのは、2009年にカナダのトロントに1年間留学したことがきっかけです。カナダもアメリカも移民の国です。自分のじいさんはどこその国から来たとか、そんな話が普通に行われていました。そんな話をしているうちに、自分はどこから来たんだろう、と疑問に思うようになり、帰国後から調査を開始しました。

最初は除籍謄本を取れるだけ取って見てみたのですが、文字は読めないし（変体仮名が読めない）、除籍謄本を読むための知識もないので、そのまましばらく放置していました。ただ、うちの墓があるお寺（菩提寺）の方が、過去帳・位牌・墓石の記録を紙にまとめてくださり、いろいろなことがわかりました。

その後数年かけて、系譜学を専門にしている岸本良信先生(<https://www.kishimotoyoshinobu.com>)に教を請いながら、除籍謄本を読み解き、家系図を作るに至ったのでした。

図1は私が取得できた一番古い戸籍です。「金子新三郎」は私の5代前（高祖父の父）、その父善右衛門は6代前となります。文政9（1826）年生まれなので、江戸時代のご先祖さま、ということになります。新三郎の妻は「こむめ（と書いてこうめと読む）」でその父は大塚徳十郎と書かれていました。

妻		主戸	
文政七年五月十二日生	こむめ	文政九年四月二十日生	金子新三郎 亡父善右衛門長男

図1 最古の除籍謄本（抜粋）

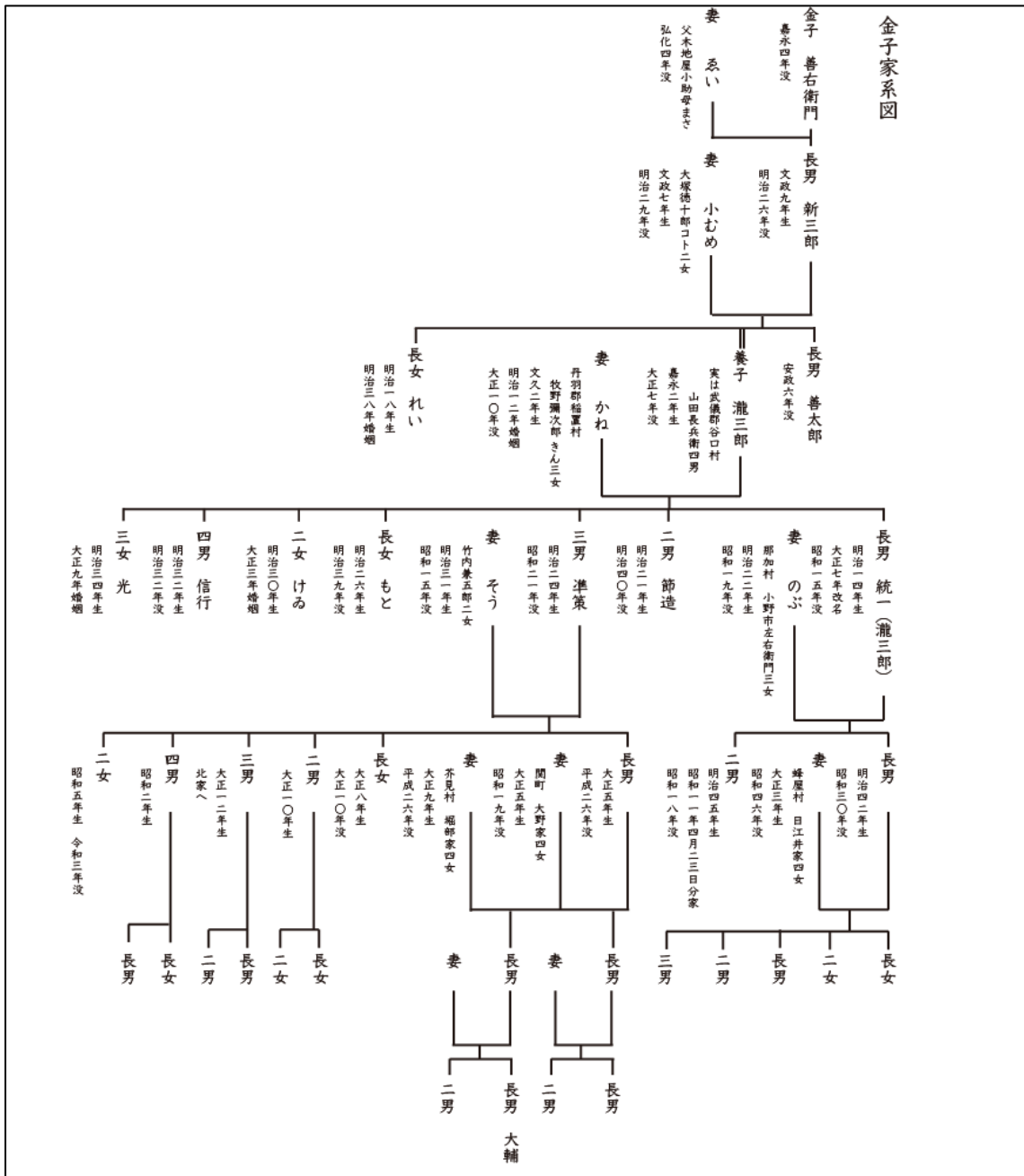


図 2 金子家の系図 (曾祖父世代以前の先祖には名前を入れました)

このような感じで除籍謄本を読み込んでいくと、家族のつながりがわかってきます。それを元に家系図を作成しました。図 2 は私の父方 (金子家) の家系図です。ちなみにこの家系図は Adobe Illustrator で作成しています。

この家系図は金子家の法事 (祖父母が亡くなったとき) にとても役に立ちました。私もはじめてお目にかかる親戚がどこの誰なのかがこれで一発でわかるのです！また、この家系図を肴にいろいろな話を聞くこともできました。そこで話されていたことは、まさに「家の歴史」に関係することでした。祖父母の家から見つかった古い写真なども同時に見てもらい

ながら、これは誰でいつ頃の写真で、どこで撮影した写真で、などの情報を聞くこともできました。

最終的に、自分の父母の全系統の家系図を作成しました。除籍謄本を読み解く作業はなかなか難しいですが、除籍謄本さえあれば家系図は作れます。これを業者に頼むと結構な金額になりますが、もし私にやって欲しいという方がいれば実費でお引き受けしますよ（時間はかかると思いますが）。最近では人の除籍謄本を見ていろんなことを考えるのもなかなか面白いものだと思うようになりました。

こうなると次は、ではもっと前はどうかだったのかということが気になります。幸い金子家は菩提寺に過去帳・位牌・墓石がありましたし、いろいろな記録も残っていたので、ある程度はわかります。判明した最古のご先祖さまは、戒名「徳林祐濟居士」、没年月日は寛永6（1629）年8月2日でした。金子家は美濃国武儀郡関町（現在の岐阜県関市）で「大黒屋」の名前で商売をしていたようで、私の曾祖父・高祖父の頃は味噌・醤油の醸造販売をしていたようです。祖父から「子どもの頃、大八車を引っ張って美濃の田舎に売って回っていた」と聞いたことがあります。

また、江戸時代の古文書も出てきました。6代前の善右衛門が離縁した妻ゑいに渡した三行半や、その子ども（5代前の新三郎）が起こした裁判の訴状なども見つかりました。三行半などは岐阜県史にも収録されているものです（資料編 近世 8、p.15）。この文字を善右衛門が書いたのか、と思うと、なんだか不思議な感じがします。このような資料を集めながら、先祖の生活やその人となり思いを馳せています。

さらに最近、自分の祖父母・両親がどのように生きたかをまとめたいと思うようになりました。残念ながら祖父母は亡くなっていますが、彼らをよく知る祖父母の子ども（私の父母）にはまだ話が聞けますので、実家に帰省する度に話を聞いたりしています。時間が取れずなかなか記録をまとめてはいないのですが、少しずつでも文字としてまとめ、自分の家族史として残しておきたいと思っています。

みなさん、私と一緒に自分のルーツを探る旅に出かけませんか？ご連絡は twitter (<https://twitter.com/daisuke1021>) や Facebook (<https://www.facebook.com/dkaneko>)、メールなどでいつでもどうぞ！

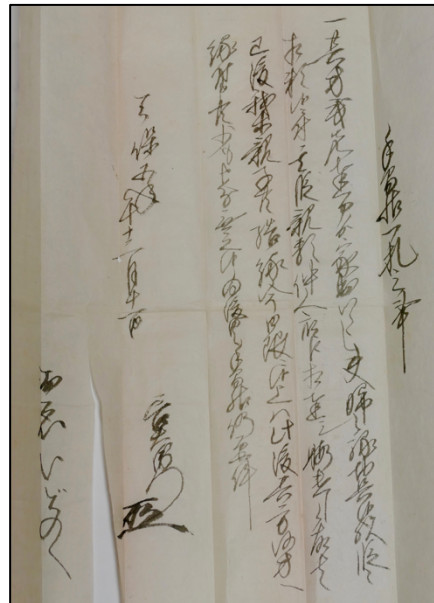


図3 ゑいへの離縁状